

Delta-T データロガー、表示器 比較表

	GP2 	DL6 	GP1 	HH2表示器 	WET150表示器 
入力端子	12ディファレンシャル入力、(又は24シングルエンド) 2線式抵抗(最大24本)、3線式抵抗(最大12本) ブリッジセンサ・ポテンショメータセンサ(最大12個) デジタル入力4点、高速カウンタまたは周波数 (30kHz、最大2点) 低速カウンタまたは周波数(100kHz、最大2点) デジタル状態 1つのDelta-TWETセンサーチャンネル シリアル入力チャンネル:62個のSDI-12センサー または1個のWETセンサー	電圧チャンネル x 6 温度センサ x 1 カウンター x 1 -	電圧チャンネル x 2 温度センサ x 2 または 追加のSM150Tセンサ x 2 ^[3] カウンター x 2 (33kHzおよび50Hz) 1ウェットセンサー	水分計 x 1または WETセンサー x 1 -	WET150センサー x 1
出力端子	6個(1A)に拡張可能な2個のリレー出力	1リレー(1A)	1リレー(1A)	-	-
保存データ数	250万	1万6000	60万	1500	-
記録速度	1秒から24時間	1秒から24時間	1秒から24時間	-	-
設定	DeltaLINK	DeltaLINK	DeltaLINK	キーパッド	キーパッド
通信オプション	USB、RS232、イーサネットまたはモデム	USB ^[1] 、RS232、 イーサネットまたはモデム	USB ^[1] 、RS232、 イーサネットまたはモデム	RS232、USB ^[1]	-
センサー励起	校正済み3Vリファレンス、+5V、 +12V安定化、または5~10.5V (電池または外部電源)、 ユーザーが選択可能	1スイッチロガーパワー	1スイッチロガー電源 15V精密リファレンス	電池切替式	SDI-12経由
電源	単三アルカリ電池6本または 外部電源10-15V DC	単三アルカリ電池6本	9Vアルカリ電池または 外部電源11~24V	9Vアルカリ電池1本	単三アルカリ電池2本
バッテリー寿命⁽⁴⁾ (条件によって異なります)	> 読取り速度310k、>連続530日	>読取り速度230k、 >連続400日	>読取り速度76k、 >連続130日	~読取り速度5k	>読取り速度2400k
防水仕様	IP65	IP67	IP67	IP54	IP65
使用温度範囲	-20~+60°C	-10~+50°C	-20~+60°C	0~40°C	0~40°C
画面	-	-	-	2行x16文字	2行x16文字
サイズ	225 x 185 x 75 mm	180 x 160 x 70 mm	140 x 105 x 45 mm	125 x 80 x 45 mm	13 x 66 x 25 mm
代表的なアプリケーション	<ul style="list-style-type: none"> 要求の厳しい研究プロジェクト 環境モニタリング さまざまな制御アプリケーション 	<ul style="list-style-type: none"> 土壌水分プロファイルの監視 灌漑の管理 	<ul style="list-style-type: none"> 土壌水分の監視 一般的なデータロギング 灌漑の管理 	<ul style="list-style-type: none"> 土壌水分/プロファイル/ WETセンサーの 瞬時測定 	<ul style="list-style-type: none"> 土壌水分、EC、および 温度の瞬時測定

センサーの互換性(接続できるセンサーの最大数^[2])

	GP2	DL6	GP1	HH2表示器	WET150表示器
ML3	✓(6)温度あり/(12)温度なし	✓(1)温度あり (5)温度なし	✓(2)温度あり (4)温度なし ^[3]	✓ 温度なし	-
SM150T	✓(6)温度あり/(12)温度なし	✓(1)温度あり (5)温度なし	✓(2)温度あり (4)温度なし ^[3]	✓ 温度なし	-
WET150	✓	-	-	-	✓
PR2	SDI-12	(50) PR2/6 (62) PR2/4	-	✓	(アドレス設定のみ)
	アナログ	(2) PR2/6 ^[5] (3) PR2/4 ^[5]	✓(1)	✓	-
WETセンサー	✓(1)	-	✓(1)	✓	-
EQ3	✓6(温度あり) / 12温度なし	✓(1)温度あり (5)温度なし	✓(2)単位mVのみ	✓(mVのみ)	-
温度	✓(12)	✓(1)	✓(2)	-	-
テンシオメーター	✓(12)	-	✓(2)GP-PBA-X50が それぞれに必要	-	-
カウンターまたはイベント	✓(4) 2高速 2低速	✓(1)	✓(2)高速1低速1	-	-
リレー出力	✓(2) (6)に拡張可能	✓(1)	✓(1)	-	-

[1] USB-RS232変換ケーブルを使用

[2] 適切な拡張カードと電源の配置

[3] 温度チャンネルはシングルエンド入力のみですので、土壌水分センサーと使用する場合は、長いケーブルやノイズの多い環境では使用しないでください。土壌水分入力として設定された場合、GP1土壌水分測定の精度は、これらの抵抗チャンネルには適用されません。

[4] バッテリー寿命は、2台のSM150Tセンサーにおいて土壌水分と温度を10分毎に記録した場合のもので、注意:DL6ロガーの場合、バッテリー寿命よりもデータストレージが制限要因となる場合があります。

[5] アナログPR2にはGP2-G5-LID拡張蓋が必要です